

【消費生活用製品安全法に基づくトヨタミからの報告】

■重大製品事故一覧

					更新日	2022年3月16日 (令和4年)	
管理番号	事故発生日	製品名	機種・型式	事故概要	公表日	被害状況	発生場所 〇〇県
A200900968	2010年1月27日 (平成22年)	石油ストーブ(開放式)	RCA-101	1名が倒れた状態で発見され、病院に搬送され、一酸化炭素中毒と診断された。現場に当該製品があった。燃焼筒ガラスの内側及び脱臭フィルターに大量の煤が付着しており、脱臭フィルターが取付部から外れたまま使用されたため不完全燃焼を起こしたと推定される。脱臭フィルターが外れた原因については特定できなかった。	2010年2月9日 (平成22年)	重症:CO中毒	愛媛県
A201000114	2010年4月25日 (平成22年)	石油ストーブ(半密閉式)	HR-683D	当該製品から出火し、当該製品が焼損する火災が発生した。当該製品内部の電気部品からの出火や異常燃焼の痕跡は認められなかったものの、製品の焼損が著しく、使用状況も不明なため、事故原因の特定には至らなかった。	2010年5月11日 (平成22年)	火災	北海道
A201000590	2010年10月7日 (平成22年)	石油ふろがま	AF-210F	当該製品に点火し、その場を離れたところ、浴槽から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺が焼損した。当該製品には空焚きとみられる痕跡が認められ、空焚き状態となって火災に至ったものと考えられる。当該製品には、空焚き防止装置が付いていたが、詳細な使用状況などが不明のため、事故原因の特定には至らなかった。	2010年10月19日 (平成22年)	火災	北海道
A20100927	2010年12月28日 (平成22年)	石油ストーブ(開放式)	RS-H293E	1棟が全焼し、隣接する2棟が延焼する火災が発生し、1名が死亡した。現場に当該製品があった。当該製品に異常燃焼の痕跡は認められなかったが、製品全体の焼損が著しく、事故当時の使用状況も不明のため、事故原因の特定には至らなかった。	2011年2月10日 (平成23年)	火災:死亡1名	愛媛県
A201000907	2010年12月29日 (平成22年)	石油温風暖房機(開放式)	LC-L347(RO)(W)	当該製品の給油タンクに給油後、点火し、その場を離れ、しばらくすると当該製品の警報が鳴動した。運転スイッチを切ったが、異臭がしたため確認すると、当該製品の下部から出火する火災が発生しており、当該製品及び周辺が焼損した。周囲には、他に出火源となるものはなく、当該製品から出火したと推定されるが、製品内部の焼損が著しく、基板や内部配線がほとんど残っていないことから、事故原因の特定には至らなかった。	2011年2月4日 (平成23年)	火災	神奈川県